



TITLE:

編集後記ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記ほか. Cue 2007, 18: 64-64

ISSUE DATE:

2007-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/57916>

RIGHT:

cue

京都大学電気関係教室技術情報誌

NO.18 OCTOBER. 2007

[第18号]

..... 巻頭言

佐々木昭夫

..... 大学の研究・動向

自律分散マルチポップネットワークの
研究とその展開

..... 産業界の技術動向

ブロードバンドワイヤレス
通信業界で何が起こっているのか？

研究室紹介

平成18年度修士論文テーマ紹介

高校生のページ

学生の声

教室通信

助賛会員の声

編集後記

cue：きっかけ、合図、手掛かり、という意味
の他、研究の「究」（きわめる）を意味す
る。さらに KUEE（Kyoto University
Electrical Engineering）に通じる。

cueは京都大学電気教室百周年記念事業の一環とし
て京都大学電気教室百周年記念事業基金と賛助会員
やその他の企業の協力により発行されています。

編集後記

厳しい京都の夏も漸く峠を越え、朝夕はめっきり秋めいてきた。今が一年で最も過ごしやすい時期だが、残念なことに直ぐに冬に突入してしまう。京都の冬は底冷えがして、夏の暑さとは違ったつらさがある。吉田兼好は「京の家は夏向きに」と言ったことから、京の人々は夏の暑さの方が辛かったのだろう。夏と冬のどちらが耐え難いかと聞かれれば、私は冬と答えるだろう。何故なら、昔と違ってエアコンや冷蔵庫等の文明の利器があるから、なんとか夏の暑さは耐えられる。無論、冬の寒さ対策としての文明の利器もあるので、冬の寒さ自体は大きな問題はない。それよりも、冬の日照時間の短さが私にとって冬を好きになれない理由である。ドイツのミュンヘンでは陰鬱な冬を乗り切るために、9月の終わりから10月の始めかけて「オクトーバフェスト」なるビール祭りを催し、大騒ぎをするそうである。京都にはそのような大騒ぎする機会がないのは寂しい限りである。但し、秋口にCUEが完成し、発行時期延伸に頭を悩ませることなく冬を迎えられることが唯一の救いである。

[S.D.記]

協力支援企業

NTTコミュニケーションズ株式会社
新日本製鐵株式会社
ダイキン工業株式会社
鉄道情報システム株式会社
日本電業工作株式会社
日立電線株式会社
フジテック株式会社
株式会社 村田製作所
ローム株式会社
(アイウエオ順)

発行日：平成19年10月

編集：電気系教室cue編集委員会
橋本 弘蔵、高橋 達郎、和田 修己、
山田 啓文、田野 哲、舟木 剛、
杉山 和彦、川下 将一
京都大学工学部電気系教室内
E-mail: cue@kuee.kyoto-u.ac.jp

発行：京都大学電気関係教室
援助：京都大学電気教室百周年記念事業基金

印刷・製本：株式会社 田中プリント